

(ケ)病児保育事業等

【見直しの背景】

市内に2カ所ある病児保育室のうちの一施設が、令和4年4月から休止していることから、事業の実施について検討する必要があるため、今後の方向性を見直しを行いました。

【見直し後】

【 今後の方向性 】

病児保育事業を実施する新たな施設の整備や新規事業等については、既存施設にて提供体制の確保はできていますが、各施設の利用状況等に留意し、より利用者ニーズに合った見直しの検討が必要です。

また、既存施設については、利用状況や利用者からの声などの複眼的な視点で検証を行うほか、既存事業についても費用対効果の視点から、より効果的な事業への見直しなど、病児を持つ保護者の視点に立った病児保育事業のあり方を検討していきます。

更に利用手続きの煩雑さなどの諸課題があることから、利用環境の改善に向けて取り組みます。

【見直し前】

【 今後の方向性 】

病児保育事業を実施する新たな施設の整備や新規事業については、既存施設にて量の見込みが確保できる見込みであることから行わないこととします。

ただし、既存施設については、利用状況や利用者からの声などの複眼的な視点で検証を行うほか、既存事業についても費用対効果の視点から、より効果的な事業への見直しなど、病児を持つ保護者の視点に立った病児保育事業のあり方を検討していきます。

また、利用手続きの煩雑さなどの諸課題など、利用環境の改善に向けて取り組みます。